

前高特ガイド NO.9

～受検を考えている生徒さんと保護者、先生方へ～



面接検査

面接検査は、会話を通して「自分のこと」を確認します。

「自分のこと」の例を挙げると、「**自分の氏名や年齢、所属学校、体験談、考え等**」のことです。「学力」を問う質問はしません。緘黙傾向の受検生には筆談の配慮ができます。

評価の観点としては「意志」や「コミュニケーション能力」を確認します。



どんなことを聞かれるのかな・・・？
本番で上手に話せるか心配・・・。

例えば・・・（一般的な質問事例です）

○志望動機

一般的に志望動機は概ね聞かれます（なぜ前高特？なぜ〇〇科？等）。

○所属中学校等での体験談

過去3年間でどんなことを経験して、楽しかったことや大変だったことは何か。また、何をどのように頑張ってきたか、等。

○目標

中学校等卒業までの目標や将来の目標。

○前高特のこと、入学してからのこと

前高特の見学や体験を通じて、「知っていること」、「感じたこと」、「入学後の自分の様子（通学方法や頑張りたいこと等）」。

以上のような質問は一般的に多いです。



準備としては・・・

○予想される質問に対する回答を「紙に書いて整理」してみましょう。

※「中学校等での体験談」については、「知らないこと」や「未経験」のことを無理に書く必要はありません。

○「前高特のこと」については、「見学したり、説明を受けたりしたけど、忘れちゃった」ということもあるかもしれません。前高特のホームページを閲覧しましょう。思い出すこともあると思います。

○先生やお家の人を相手に「実践練習」に取り組んでみましょう。無理に「自分をよく見せよう」とせず、しっかり「伝えられる」ことを目標に取り組みましょう。

